「災害時対応ユニット」（LP ガス）を用いた炊き出し訓練

～発災直後でも炊き出しができる体制を目指して（北下浦中学校避難所運営委員会）～

これまで横須賀市では、震災時に避難所が開設された際の炊き出し用燃料の確保について、LP ガス協会との防災協定に基づき、協会から LP ガスボンベや関連機器の提供を受けて燃料を確保する体制を整えていました。

しかし、ガス協会への登録事業者数が減少した結果、すべての震災時避難所に即座に燃料を供給することが難しくなったため、※設置可能な避難所に「災害時対応ユニット」を配備しました。（令和５、６年度）

今回、避難所運営委員会からの要望を受け、配備した「災害時対応ユニット」を用いた炊き出し訓練を、**横須賀市で初めて**実施しました。【北下浦中学校避難所運営訓練】

（令和６年度は、北下浦中学校を含む計６か所の避難所で炊き出し訓練を実施しました。）

1　訓練風景、設置状況

「災害時対応ユニット」

2　訓練内容

（１）バーナー、大釜など（防災収納庫内に備蓄）を炊き出し場所に設置

（２）災害時対応ユニットとバーナーをゴムホースで接続し、点火

（３）水が沸騰した後、アルファ化米の調理

※設置可能な震災時避難所とは、LP ガスが既設され周囲に炊き出しスペースが確保できる避難所。（69 か所のうち 56 か所）なお、設置不可の 13 か所については、従来どおり LP ガス協会との防災協定により、優先的に燃料を調達します。

【参考資料】災害時対応ユニット使用方法（マニュアル）

ＬＰガス災害時対応ユニット 使用方法

手順１ 必要な資器材を取り出す

防災収納庫 に備蓄している

・LPガス用ガスバーナー
・LPガス用ゴムホース
・着火ライター　など

炊き出し場所へ持っていく。

手順２ 災害時対応ユニットを開放し、バーナーとホースで繋ぐ

手順３ ガス栓を開栓し、点火棒を着火ライターで点火させる。

※エア抜きは、30秒程度かかる

手順４ 火の調整をする。

バーナーのコックを順次開放しながら
点火棒を用いて点火させる

空気弁を開閉し、
炎が青くなるように調整する

※ガスが過流すると、元栓のヒューズが作動。ガスが噴出していない場合は、元栓を再度開放しなおす

★上記マニュアルは、「防災収納庫」および「災害時対応ユニット」に整備しています。